

## コアシンポジウム 1

### 「消化管診断学の新展開 【内視鏡診断および病理診断の最先端】」

司会 八尾 隆史（順天堂大学大学院医学研究科人体病理病態学）  
吉永 繁高（国立がん研究センター中央病院内視鏡科）

近年、NBI・BLI・LCI・TXI、超拡大・共焦点内視鏡などの新しい内視鏡診断モダリティの開発に加え、胃底腺型胃癌、胃ラズベリー様腫瘍、PPI 関連病変、十二指腸腫瘍、大腸 SuSA などの新興病変の出現により消化管診断学（内視鏡・病理診断）は加速度的に展開している。また、AI を用いた内視鏡診断や病理診断も次々に開発され、実用化されつつある。本シンポジウムでは最新の内視鏡診断や病理診断について報告頂き、最先端の消化管診断学について討論をしたい。なお、preliminary な報告も歓迎する。